

神奈川歯科大学 附属病院

KANAGAWA DENTAL UNIVERSITY HOSPITAL

神奈川歯科大学附属病院では **4** 月より

「**もの忘れ外来**」の診療を開始します

認知症とは？

世界一の長寿国である日本。平均寿命は80歳を超え、多くの方が生き生きとした老後を過ごされています。一方で、後期高齢者の4人に1人はもの忘れなどの認知障害を伴っているという統計もみられます。

「認知症」は、様々な病的理由により脳の神経細胞が破壊され日常生活に支障を来す病気の総称です。大切なことは、その「もの忘れ」が正常な老化によって生じる「良性健忘」なのか、病気である「認知症」によって生じているものなのかを見分けることであり、早期に専門医による診察が必要となります。また、「認知症」は早い段階から治療を始めることが大切で、治療により進行を遅らせることができます。

もの忘れ外来 診察日

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前	○ 初診	○ 再来				
午後	○ 初診	○ 再来				

完全予約制になっておりますので、事前に当院へお電話ください。
ご予約、お問合せは 内科受付 046-822-8896 まで
受診時には本人の状況をよく知っている人の同伴をお願いします。

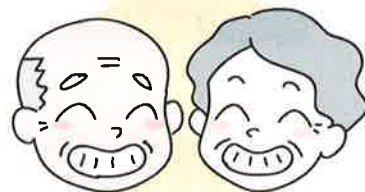
もの忘れ外来を受診される方へ

～ご確認いただきたいこと～

よくある「認知症」の初期症状としては、日付がわからない、約束を思い出せない、物を置き忘れたり、しまいこんだままどこにしまったのか忘れてしまうといった症状が認められます。

こうした症状は、自分で気付くこともあります。気になる「もの忘れ」が少しでもあれば、積極的に専門医を受診することをお勧めします。

「もの忘れ、歳だからしょうがない」ではすまされない、健康への高い意識こそ認知症予防の第一歩です。



当院「もの忘れ外来」での治療の流れ

初診の方も再診の方もすべて予約制です。初診時は、診察の前に予め「問診票」の記入をして頂きます。その後、臨床心理士による認知機能を詳細に評価するための「神経心理学的検査（約30分）」を受けて頂きます。これが済むと診察になりますが、「問診票」を基にした問診、座位と立位での血圧測定（看護師が診察前に行う場合もあります）、一般身体検査、神経学的診察を行ないます。診察にはおおよそ30分程度の時間を要します。診察終了後、必要な検査※の予約と検査結果説明を行う外来受診日の予約を行ない、初診は終了となります。

※必要な検査とは、血液検査、心電図検査、頭部MRI、脳血流シンチグラフィ（SPECT）になります。なお、脳血流シンチグラフィに関しては、横須賀共済病院他、連携病院で検査を行ないます。

検査結果説明は、初診、必要な検査が全て終了した段階で行います。疾患の説明を含めて30分程度を見て下さい。レビー小体病やその他疾患が疑われた場合、確定診断のための追加検査（MIBG心筋シンチグラフィ、DaTスキャン、終夜ポリソムノグラフィなど）を予定します。

診断が確定すると、お薬が処方されます。疾患および処方薬によっては、治療開始当初は2週間毎に来院して頂く場合がありますが、基本的には1カ月に1回の受診となります。なお、患者さんの症状を予めメモなどにまとめ、受付の際に窓口でお渡しいただければと思います。

アリセプト（ドネペジル）が処方された方は、副作用チェックとして内服開始2週間目で再診していただきます。その際、診察前に心電図をチェックして頂きます。リバスタッチ（リバスタチグミン）が処方された方は、1カ月後に副作用チェック目的での受診をして頂きます。その際、心電図検査を診察前に行って頂きます。

3カ月および6カ月の段階でお薬の効果を判定する目的で、「神経心理学検査」を行ないます。これ以降は、半年に1回、疾患によっては1年に1回の頻度で評価することになります。

アルツハイマー病およびアルツハイマー型認知症と診断された方は、基本的に掛かりつけ医のいらっしゃる場合は掛かりつけ医の先生へ、いらっしゃらない場合は近隣の先生へご紹介することとなります。